



2021年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月13日

上場会社名 株式会社セラク 上場取引所 東
 コード番号 6199 URL http://www.seraku.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 宮崎 龍己
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営管理本部長 (氏名) 小関 智春 (TEL) 03(3227)2321
 四半期報告書提出予定日 2020年4月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期第2四半期の連結業績 (2020年9月1日～2021年2月28日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期第2四半期	7,268	11.0	716	62.3	1,110	148.9	703	147.0
2020年8月期第2四半期	6,550	24.0	441	128.9	446	125.0	284	161.9

(注) 包括利益 2021年8月期第2四半期 701百万円 (144.9%) 2020年8月期第2四半期 286百万円 (164.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期第2四半期	51.00	50.48
2020年8月期第2四半期	20.67	20.65

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年8月期第2四半期	7,986	4,070	50.9
2020年8月期	7,342	3,429	46.7

(参考) 自己資本 2021年8月期第2四半期 4,066百万円 2020年8月期 3,425百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年8月期	—	0.00	—	4.60	4.60
2021年8月期	—	0.00	—	—	—
2021年8月期 (予想)	—	—	—	5.60	5.60

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年8月期の連結業績予想 (2020年9月1日～2021年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,020	9.1	1,370	20.8	1,650	41.6	957	46.3	69.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期2Q	13,818,000株	2020年8月期	13,767,200株
② 期末自己株式数	2021年8月期2Q	84株	2020年8月期	62株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年8月期2Q	13,785,640株	2020年8月期2Q	13,767,180株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(追加情報)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、国内外における新型コロナウイルス感染症の影響を受け、依然として厳しい状況が続いています。感染拡大の防止策を講じつつ、段階的に社会経済の活動レベルを引き上げていくなかで、緩やかながらも基調としては持ち直しつつありました。しかしながら、新年早々、新型コロナウイルス感染症の再拡大により緊急事態宣言の再発令もあり、先行きについては不透明な状況が続くものと予想されま

す。
当社グループが主にサービスを提供する情報産業分野においては、柔軟な労働環境を提供できるテレワークなどの働き方改革ツールの急速な普及、業務効率化、情報セキュリティ対策等を目的とした投資活発化の動きがみられます。また、情報化投資としてIoTサービス、クラウド、ビッグデータやAIのデジタル技術の活用、拡大など、「デジタルトランスフォーメーション(DX)」への取り組みにも広がりを見せており、これら企業の需要に対応する質の高いITエンジニアの採用・育成の重要性がさらに増しております。

このような環境の下、当社グループは積極的な人材の採用及び良質なエンジニアの育成によるサービスの価値向上に取り組むとともに、一次産業の「デジタルトランスフォーメーション(DX)」化の実現を目指す「みどりクラウド」による農業IT分野でのシェア拡大にも一層注力してまいりました。

これらの結果、当社グループの売上高は7,268,451千円(前年同期比11.0%増)、営業利益は716,286千円(前年同期比62.3%増)、経常利益は1,110,877千円(前年同期比148.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は703,014千円(前年同期比147.0%増)となりました。

また、事業分野別のセグメント概況は、以下のとおりであります。

① システムインテグレーション事業

システムインテグレーション事業においては、既存技術領域でのIT技術支援を推進し、長期安定的な分野であるITインフラ・クラウドテクノロジーや、デジタルクリエイティブ・WEB運営、WEBシステム開発などのサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においても、「クラウド運用」「プロジェクトマネジメント」「デジタル・マーケティング」等の領域で引き続き順調に案件獲得が見込めることから、人材の採用及び育成に注力すると共に、ビジネスパートナー各社との連携強化による外部リソース活用の拡大により積極的に取り組みました。

これらの結果、当セグメントの売上高は5,264,875千円(前年同期比0.6%増)、セグメント利益は509,948千円(前年同期比28.2%増)となりました。

② デジタルトランスフォーメーション事業

デジタルトランスフォーメーション事業においては、企業の情報資産を保護するサイバーセキュリティ、SalesForceの定着支援を軸としたカスタマーサクセス事業、RPAによる業務の効率化、ITの活用で儲かる農業を実現する「みどりクラウド」等の先端技術を用いたサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においては、それぞれの技術領域におけるニーズの継続的な拡大により、売上は堅調に推移いたしました。更なる事業規模の拡大に向け、積極的に人材の採用を行っております。

「カスタマーサクセス事業」では、増加する企業のデジタルマーケティング活動に伴いニーズが高まっているSalesforceの定着支援に注力するとともに、新たなラインナップとしてTableauの定着化支援サービスの提供を開始しました。

また「みどりクラウド事業」においては、みどりクラウドの導入促進に継続注力しながらも、ニーズが拡大しつつある農水産ソリューションや、畜産業向けのソリューションであるファームクラウドの販売代理店開拓等にも注力してまいりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は1,778,091千円(前年同期比59.2%増)、セグメント利益は183,788千円(前年同期比167.3%増)となりました。

③ 機械設計エンジニアリング事業

機械設計エンジニアリング事業においては、連結子会社である株式会社ピーズエンジニアリングでの3DCAD分野の技術提供、機械・金型などの受託設計サービス、実験や性能検査などの品質管理に関わる技術を提供しております。

当第2四半期連結累計期間においても、引き続き新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う市況の悪化により案件の減少はあるものの、新たな分野（通信建設/工作機械/ロボット）へのアプローチを継続して取り組んでまいりました。

また、新規顧客開拓を図りつつ、初期研修者を実践型社内プロジェクトに参画させ、早期戦力化に努めたことで稼働率の向上につなげることができました。

これらの結果、当セグメントの売上高は227,364千円（前年同期比12.0%増）、セグメント利益は22,511千円（前年同期はセグメント損失20,271千円）となりました。

④ その他事業

その他事業においては、連結子会社である株式会社セラクE C Aでの有料職業紹介・人材派遣・IT技術教育講座等のサービスを提供しております。

当第2四半期連結累計期間においても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う顧客企業の採用需要の減少や採用活動の中断、延期などが続いております。

このような市況の悪化により、当社グループにおいても、今後の事業の在り方について見直しを行う取り組みを進めてまいります。

これらの結果、当セグメントの売上高は2,835千円（前年同期比83.3%減）、セグメント利益は38千円（前年同期はセグメント損失4,985千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ643,696千円増加し7,986,068千円となりました。これは主に、繰延税金資産が46,578千円、受取手形及び売掛金が43,216千円減少したものの、現金及び預金が485,715千円、仕掛品が130,516千円、投資その他の資産「その他」が82,650千円、建物が20,694千円増加したことなどによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ3,025千円増加し3,915,667千円となりました。これは主に、未払消費税等が271,614千円、1年内返済予定の長期借入金が34,445千円、長期借入金33,330千円減少したものの、買掛金が109,271千円、流動負債「その他」が92,478千円、未払金が80,271千円、賞与引当金55,218千円増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ640,670千円増加し4,070,401千円となりました。これは主に、利益剰余金が639,688千円増加したことなどによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）の残高は、4,767,867千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、739,693千円（前年同期は238,649千円の収入）となりました。

主な要因は、法人税等の支払額340,194千円、未払消費税等の減少額271,614千円、たな卸資産の増加額159,596千円、前払費用の増加額11,501千円等の資金の減少要因があったものの、税金等調整前四半期純利益1,098,707千円、仕入債務の増加額109,271千円、未払金の増加額84,148千円、賞与引当金の増加額55,218千円、売上債権の減少額43,216千円、減価償却費14,168千円、投資有価証券評価損11,645千円等の資金の増加要因が生じたことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、129,317千円(前年同期は99,636千円の支出)となりました。

主な要因は、保険積立金の積立による支出82,650千円、有形固定資産の取得による支出45,662千円等の資金の減少要因が生じたことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、125,162千円(前年同期は106,830千円の支出)となりました。

主な要因は、長期借入金の返済による支出67,775千円、配当金の支払額59,611千円等の資金の減少要因が生じたことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年8月期の業績予想につきましては、2020年10月15日の「2020年8月期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,329,351	4,815,066
受取手形及び売掛金	1,826,711	1,783,494
仕掛品	19,453	149,969
原材料	36,816	65,896
その他	107,482	102,062
貸倒引当金	△4,124	△3,397
流動資産合計	6,315,690	6,913,092
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	111,892	132,586
工具、器具及び備品(純額)	22,794	32,152
その他	0	2,942
有形固定資産合計	134,686	167,682
無形固定資産		
のれん	25,093	20,530
ソフトウェア	8,692	6,490
その他	1,844	1,787
無形固定資産合計	35,630	28,808
投資その他の資産		
投資有価証券	132,702	121,926
繰延税金資産	383,832	337,253
敷金及び保証金	214,613	209,439
その他	125,216	207,867
投資その他の資産合計	856,364	876,486
固定資産合計	1,026,681	1,072,976
資産合計	7,342,372	7,986,068

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年2月28日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	57,323	166,594
1年内返済予定の長期借入金	106,660	72,215
未払金	924,007	1,004,279
未払法人税等	369,631	376,064
未払消費税等	504,583	232,968
賞与引当金	639,927	695,145
その他	170,966	263,444
流動負債合計	2,773,098	2,810,712
固定負債		
長期借入金	1,005,570	972,240
退職給付に係る負債	133,900	130,163
その他	72	2,551
固定負債合計	1,139,542	1,104,955
負債合計	3,912,641	3,915,667
純資産の部		
株主資本		
資本金	297,974	299,117
資本剰余金	495,724	496,867
利益剰余金	2,628,218	3,267,907
自己株式	△62	△98
株主資本合計	3,421,855	4,063,793
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	65	668
退職給付に係る調整累計額	3,647	1,823
その他の包括利益累計額合計	3,712	2,492
新株予約権	4,162	4,115
純資産合計	3,429,730	4,070,401
負債純資産合計	7,342,372	7,986,068

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
売上高	6,550,727	7,268,451
売上原価	4,990,703	5,477,474
売上総利益	1,560,024	1,790,976
販売費及び一般管理費	1,118,669	1,074,689
営業利益	441,354	716,286
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,226	802
助成金収入	3,300	392,898
受取補償金	149	—
その他	970	2,960
営業外収益合計	5,646	396,660
営業外費用		
支払利息	521	2,068
その他	249	1
営業外費用合計	770	2,070
経常利益	446,229	1,110,877
特別利益		
新株予約権戻入益	144	47
特別利益合計	144	47
特別損失		
固定資産除却損	—	571
投資有価証券評価損	—	11,645
特別損失合計	—	12,217
税金等調整前四半期純利益	446,374	1,098,707
法人税、住民税及び事業税	170,589	348,575
法人税等調整額	△8,783	47,117
法人税等合計	161,805	395,693
四半期純利益	284,568	703,014
親会社株主に帰属する四半期純利益	284,568	703,014

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
四半期純利益	284,568	703,014
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	471	603
退職給付に係る調整額	1,579	△1,823
その他の包括利益合計	2,051	△1,220
四半期包括利益	286,620	701,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	286,620	701,794

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	446,374	1,098,707
減価償却費	11,123	14,168
のれん償却額	4,562	4,562
固定資産除却損	—	571
投資有価証券評価損益(△は益)	—	11,645
貸倒引当金の増減額(△は減少)	43	△726
賞与引当金の増減額(△は減少)	33,432	55,218
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20,212	△3,736
受取利息及び受取配当金	△1,226	△802
助成金収入	—	△392,898
支払利息	521	2,068
売上債権の増減額(△は増加)	△71,536	43,216
たな卸資産の増減額(△は増加)	△25,197	△159,596
前払費用の増減額(△は増加)	△70,696	△11,501
仕入債務の増減額(△は減少)	28,278	109,271
未払金の増減額(△は減少)	113,541	84,148
未払消費税等の増減額(△は減少)	2,552	△271,614
その他	△11,695	105,610
小計	480,287	688,312
利息及び配当金の受取額	766	684
利息の支払額	△516	△2,008
助成金の受取額	—	392,898
法人税等の支払額	△241,888	△340,194
営業活動によるキャッシュ・フロー	238,649	739,693
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△2,601	△501
定期預金の払戻による収入	1,500	—
有形固定資産の取得による支出	△2,164	△45,662
無形固定資産の取得による支出	△3,794	—
保険積立金の積立による支出	△53,587	△82,650
短期貸付金の純増減額(△は増加)	15,000	—
敷金及び保証金の差入による支出	△54,013	△4,321
敷金及び保証金の回収による収入	25	3,819
投資活動によるキャッシュ・フロー	△99,636	△129,317

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△65,330	△67,775
リース債務の返済による支出	△139	△25
配当金の支払額	△41,360	△59,611
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	2,286
自己株式の取得による支出	—	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106,830	△125,162
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	32,183	485,213
現金及び現金同等物の期首残高	2,723,014	4,282,653
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,755,197	4,767,867

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大により、経済や企業活動に甚大な影響を与えており、依然として国内経済は先行き不透明な状況が続くものと推測しておりますが、当社グループの業績に与える影響については、前連結会計年度の決算短信の(追加情報)に記載した「新型コロナウイルスの感染拡大の影響に関する会計上の見積り」について重要な変更は現在ありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年9月1日 至 2020年2月29日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,231,936	1,117,154	197,087	6,546,178	4,549	6,550,727	—	6,550,727
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	5,859	5,859	12,478	18,337	△18,337	—
計	5,231,936	1,117,154	202,946	6,552,037	17,027	6,569,065	△18,337	6,550,727
セグメント利益又はセグメント損 失(△)	397,848	68,763	△20,271	446,339	△4,985	441,354	—	441,354

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額には、セグメント間取引消去△18,337千円が含まれております。

3. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年9月1日 至 2021年2月28日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	システム インテグ レーション	デジタル トランス フォー メーション	機械設計 エンジニア リング	計				
売上高								
外部顧客への売上高	5,264,875	1,778,091	223,447	7,266,415	2,035	7,268,451	—	7,268,451
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	3,917	3,917	800	4,717	△4,717	—
計	5,264,875	1,778,091	227,364	7,270,332	2,835	7,273,168	△4,717	7,268,451
セグメント利益	509,948	183,788	22,511	716,247	38	716,286	—	716,286

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有料職業紹介、人材派遣、IT技術教育講座等の事業であります。

2. セグメント利益の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去△4,717千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。